

1. 研究課題名：
生態系サービスのシナジーとトレードオフ評価と
ローカルガバナンスの構築

2. 研究代表者氏名及び所属：
齊藤 修（国際連合大学サステナビリティと平和研究所）



3. 研究実施期間：平成 25～27 年度

4. 研究の趣旨・概要

生態系サービスとは人間が生態系から得ている恵みの総称であり、供給サービス、調整サービス、文化的サービスなどで構成される。各サービスは個別に発揮されるのではなく、サービス間にはトレードオフを含む相互連関がある。

そこで本研究では、能登半島の里地を対象に、1)生態系サービスについて統合的インベントリを構築し、2)多様な生態系サービスをめぐるシナジーとトレードオフ構造を明らかにするとともに、3)生物多様性保全と持続可能な利用のためのローカルガバナンスのあり方を提案する。

これにより、様々な生態系サービスのシナジーとトレードオフを明示的に扱える評価手法が確立され、政策立案支援に応用可能となることが期待される。

5. 研究項目及び実施体制

- ①生態系サービスの統合的インベントリ構築（京都大学）
- ②生態系サービスのシナジーとトレードオフ評価（国際連合大学）
- ③持続可能な社会に寄与するローカルガバナンスと知識生成の提案（金沢大学）

6. 研究のイメージ

